

社会・文化・教育



キーワード：職場での共同的関係、職業生活の充実、計量分析

職場での共同的関係が持つうる諸機能の解明

現代社会学部 現代社会学科 准教授

山本 圭三 YAMAMOTO Keizo

研究の内容

筆者は労働分野の社会学的研究を専門としており、中でも「職場での共同的関係が持つうる諸機能の解明」を中心的なテーマにしています。職場のメンバーどうしが共同的な関係にあることがどういった影響を及ぼすのか、そうした関係は何によって生まれるのか、などの問い合わせを検討し、それを通して労働者のより良い職業生活のありようを探ることが研究の主眼です。特にここ最近ではメンバーどうしで行われる「共同飲食」に関心を持っており、それが共同的関係やひいては職場への肯定的評価とどう関係しているのかについて研究しています。

また労働者個人どうしの関係だけでなく、組織間で結ばれる共同的関係にも筆者は関心を持っています。そうした問題を検討するフィールドとしてNPO研究にも携わっています。例えば他団体と共同的な関係を持つことが組織の維持存続や目標達成にどういった影響を及ぼしうるかという問題について、正負の両面から検討を行っています。

研究手法としては社会調査データを用いた計量分析を主としており、個票データや組織調査データなどを用いて上記のような研究を進めています。また研究の一環として、調査の実施やデータ分析に関わるツール・教材の開発なども行っています。

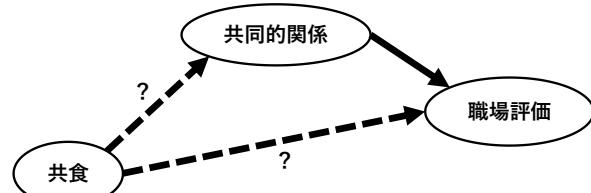


図1 最近の研究で想定している図式(抜粋)

産学連携・社会連携へのアピールポイント

上記の通り筆者は計量的なデータ分析を主な手法としているため、データ分析などを中心とする調査研究などの連携事業においては、新規の調査を実施する場合だけでなく、既存データを活用する場合でも何らかの役割を担うことが可能です。また、「調査によって知りたい情報を的確に得る」「データを適切に分析して傾向を把握する」ための知識・スキルの提供ができます。

研究者総覧（山本 圭三）

URL : https://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/100001134_ja.html

